

下水道ポスター

入選者発表

1102点の力作がそろった

最優秀賞

小学生の部

金 真衣子さん 城南小 4年

中学生の部

小笠原 香織さん 一中 2年

優秀賞

西村 直亮さん	城南小 4年
秋元 天さん	城南小 4年
青柳 健隆さん	城南小 4年
佐藤 由香さん	城南小 4年
島内 佑子さん	一中 1年

下水道の普及促進を図るため、9月に実施された「全国下水道促進デー」の事業の一環として、市内の小、中学生を対象に下水道に関するポスターを募集しました。応募作品102点は、川や海などの自然環境に関する作品が多く、どれも力作ぞろいでしたが、審査の結果、次のかたがたが入選しました。



金 真衣子さんの作品



小笠原 香織さんの作品

市長リポート

No. 147



これからの産業振興

大館市の産業振興策として、これまでは道路、農地及び工業団地の造成など基盤の整備が中心でした。しかし、これからは大館市が日本の中で果たすべき役割が何かを考え、社会的意義のあることを行っていく必要があると思います。例えば、身の回りには、リサイクルという解決の難しい問題があります。それに努力して取り組むと、その分野で欠くことのできない地位を得、市にとっても良い結果が望めることになるかもしれません。これからはこのような産業を育てていく必要があります。

そのような産業とは何か。鋳工業でいいますと、リサイクル・マイン・パーク事業の実現です。農林業では、日本の食料基地としての役割を担うのもいいでしょう。また、木材輸出国の環境保護のため、国産材の生産をしっかりとやることも考えられます。ただ物を売るということだけでは成り立たなくなっている商業に関しては、たくさんの方が訪れ、そこでお互いに交流を深めていく交流拠点都市としての商業を考えていく必要があります。そうすることにより、新しい展開が生まれ、活性化されていきます。

これから、産業の振興に取り組むにあたっての目標は、本館に大館市が日本の産業社会の中で、または、産業構造の中で、重要な位置づけを得て、その力を発揮することです。そして今が、二十一世紀に向けてはかの地域との共存共栄を図っていくためのまさに構築の時期だと思っています。本来の産業振興は、行政の役割に加え、官民両方の協力と頑張りがあつてこそ、うまくいくものと思います。市民の皆さんの行政への提言と、何よりも大館市発展に対するやる気が重要なのです。高い理想と現実が少しでも近づいていけるよう力を出し合いましょう。

小 畑 元